

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『パーキンソン病患者における box & block test との関連調査

—診療録調査による後方視研究—

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。ただし、データが解析への利用が開始された場合には、その利用を停止することはできません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2019年12月より2024年3月までの間に、身体リハビリテーション部のリハビリテーションを受け、臨床評価を行った方

【研究期間】

研究実施許可受領後より2028年3月31日まで

【研究責任者】

病院身体リハビリテーション部 大澤 朋幹

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

パーキンソン病と box & block test(BBT)の関連については、報告が少なく十分に検討がされていません。BBTとは、世界標準的な簡易上肢検査法で、2つの box のうちの一方に150個の木製ブロックを入れて、一側上肢でもう一方の box に移動させることを評価します。1分間に何個ブロックを移動できたかを計測します。BBT と疾患特有の症状や重症度、日常生活との関連性や結果の傾向・統計が明らかになると、予後予測や介入後の変化を検討するうえで、有用な指標となると考えます。2019年12月より2024年3月までの間に、国立精神・神経医療研究センター身体リハビリテーション部のリハビリテーションを受け、臨床評価を行った方を対象に評価データを診療録等から収集し分析を行う横断的研究になります。

【利用又は提供する試料・情報等】

基本情報(年齢、性別、発症年、経過年数、内服状況等)、疾患特有の評価(Hoehn & Yahr の重症度分類、UPDRS、PDQ39、発症時の優位、Dat scan)、上肢機能評価(BBT、関節可動域、STEF 等)、認知機能検査(MMSE、MMSE-J、FAB、HDS-R、MoCA-J、TMT)、日常生活評価(FIM)など

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

所属 身体リハビリテーション部 氏名 大澤 朋幹

電話番号 042-341-2711(内線:7005)身体リハビリテーション科 受付

作成年月日： 2024 年 7 月 5 日 第 1.1 版

e-mail:osawatomoki※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)